

260117授業プリント(土曜の授業で解きます)

※ 問題用紙は（その1）から（その6）までありますから、注意してください。

※ 答えは、別紙の解答欄に書き入れなさい。

※ 比はすべて最も簡単な整数の比で答えなさい。

※ 円周率は3.14として計算しなさい。

1
24

次の□にあてはまる数を求めなさい。

(1) $75 \times 13 \div 25 = \boxed{\quad}$

(2) $0.6 \div \left(\frac{2}{7} \div 1 \frac{11}{21} \right) = \boxed{\quad}$

(3) $\frac{2}{3} + 2 - \frac{5}{6} \times \boxed{\quad} = 1 \frac{5}{12}$

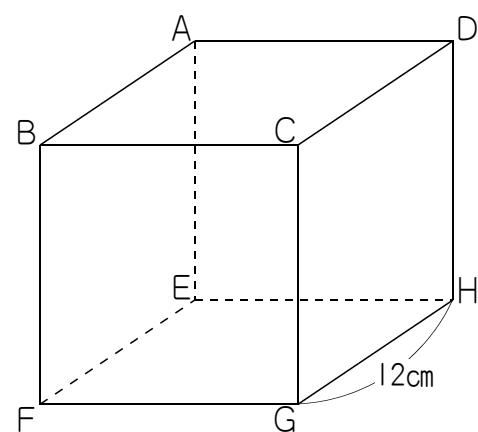
2
64

次の問い合わせに答えなさい。

(1) 1周800mの池のまわりを、太郎君は分速90mで歩き、次郎君は分速70mで歩きます。2人が同時に同じ場所から反対方向に出発したとき、2人がはじめてすれちがうのは、出発してから何分後ですか。

(2) 濃さが12%の食塩水が400gあります。この食塩水にふくまれる食塩の重さは何gですか。

(3) 右の図の立方体ABCDEF-GHを、3点A, C, Fを通る平面で切り分けました。頂点Bをふくむ方の立体の体積は何cm³ですか。

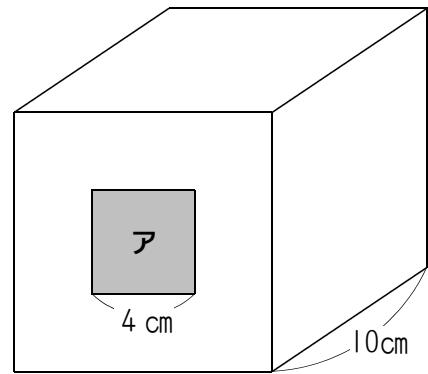


5 年 算 数 (組分け)

(その 2)

(2025. 1. 26)

- (4) 右の図のように、1辺10cmの立方体から、正方形アの部分を反対側の面まで垂直にくりぬいて取りのぞきます。残った立体の体積は何cm³ですか。

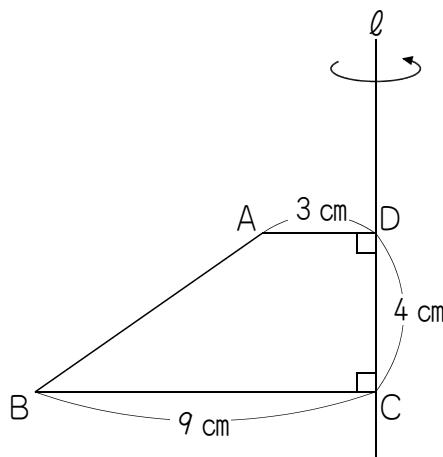


- (5) 底面積が600cm²、高さが15cmの直方体の形の容器に8cm³の深さまで水が入っています。この容器に、底面積が120cm²、高さが15cmの円柱の棒を、底面が容器の底につくまで入れました。水の深さは何cmになりましたか。

- (6) 濃さが6%の食塩水Aと濃さが14%の食塩水Bを混ぜたところ、濃さが8%の食塩水ができました。食塩水Aと食塩水Bの重さの比を求めなさい。

- (7) 長さ180mの列車Aと長さ120mの列車Bが走っていて、Aの速さとBの速さの比は2:3です。あるトンネルにさしかかってから完全にぬけるまでに、Aは39秒、Bは24秒かかります。トンネルの長さは何mですか。

- (8) 右の台形ABCDを直線ℓを軸にして1回転させたとき、できる立体の体積は何cm³ですか。



5 年 算 数 (組分け)

(2025. 1. 26)

3
24

ある日、静水時の速さが一定の船が、2400mはなれた川の上流のA地点と下流のB地点を1往復しました。すると、A地点からB地点まで下るのに15分、B地点からA地点まで上るのに24分かかりました。これについて、次の問い合わせに答えなさい。ただし、川の流れの速さは一定です。

(1) 下りの速さと上りの速さは分速何mですか。それぞれ答えなさい。

(2) 川の流れの速さは分速何mですか。

(3) 次の日、川の水が減って、川の流れの速さが前の日の $\frac{5}{6}$ 倍になりました。この日、A地点から浮き輪を流すと、浮き輪がB地点に着くまでに何分かかりますか。ただし、浮き輪は川の流れの速さで下流に向かって流れています。

4
16

360の約数について、次の問い合わせに答えなさい。

(1) 約数は全部で何個ありますか。

(2) 奇数の約数は何個ありますか。

5 年 算 数 (組分け)

(その4)

(2025.1.26)

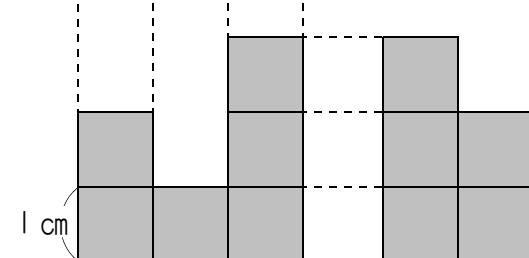
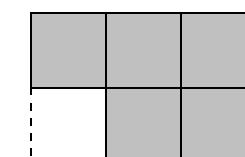
5

1辺1cmの立方体を、面と面がぴったりと重なるように積み重ねて立体を作りました。右の図は、この立体を正面、真上、右横から見たものです。これについて、次の問い合わせに答えなさい。

(1) この立体の体積は何cm³ですか。考えられるものをすべて答えなさい。

(2) この立体の表面積は何cm²ですか。考えられるものをすべて答えなさい。

真上



右横



正面

6

ある一定の割合で水がわき出す泉に、水がいっぱいにたまっています。この泉の水をくみ出すのに、毎分14Lの水をくみ出すことができるポンプを2台同時に使うと、泉を空にするのに80分かかり、同じポンプを5台同時に使うと、24分かかります。これについて、次の問い合わせに答えなさい。

(1) 泉には、毎分何Lの割合で水がわき出しますか。

(2) 泉の水がいっぱいの状態から、ちょうど10分で泉を空にするには、ポンプを何台使えばよいですか。

5 年 算 数 (組分け)

(2025. 1. 26)

7
16

3つの容器A, B, Cに, それぞれ食塩水が入っています。Aには400g, Bには500gの食塩水が入っていて, AとBにふくまれる食塩の重さの比は4 : 3です。また, Cには濃さが20%の食塩水が450g入っています。これらの食塩水について, 下のような操作を順にしました。

操作1 AからBに, そのときAに入っている食塩水の $\frac{1}{4}$ を移した。

操作2 BからCに, そのときBに入っている食塩水の $\frac{1}{4}$ を移した。

操作3 CからAに, そのときCに入っている食塩水の $\frac{1}{5}$ を移した。

すると, はじめのAの食塩水の濃さと, すべての操作の後のAの食塩水の濃さは同じになりました。これについて, 次の問いに答えなさい。

(1) はじめのAの食塩水とはじめのBの食塩水の濃さの比を求めなさい。

(2) はじめのBの食塩水の濃さは何%ですか。

5 年 算 数 (組分け)

(2025. 1. 26)

8
<24>

ある日、四谷君は買い物に行くために家を出ました。家を出るときに時計を見たところ、午後1時と午後2時の間でした。また、四谷君が買い物から帰ってきたときに時計を見たところ、午後4時と午後5時の間で、家を出たときと時計の長針と短針の位置がちょうど入れかわっていました。これについて、次の問い合わせに答えなさい。

(1) 四谷君が買い物に出かけている間に、時計の長針と短針が動いた角度の合計は何度ですか。

(2) 四谷君が買い物に出かけていた時間は、何時間何分ですか。

(3) 四谷君が家を出たのは、午後1時何分ですか。

260117授業プリント(土曜の授業で解きます)

得点 _____

氏名	
----	--

1
8

(1) | |

(2) | |

(3) | |

2
8

(1) | | 分後

(2) | | g

(3) | | cm³

(4) | | cm³

(5) | | cm

(6) | | :

(7) | | m

(8) | | cm³

3
8

(1) 下り | 上り
分速 | 分速
| 12 m | m

(2) 分速 | m
| 13 m |

(3) | | 分
| 14

4
8

(1) | | 個

(2) | | 個

5
8

(1) | | cm³

(2) | | cm²

6
8

(1) 每分 | L

(2) | | 台

7
8

(1) | | :

(2) | | %

8
8

(1) | | 度

(2) | | 時間 分

(3) 午後 | 時 分